

授業科目	看護理論					実務家教員担当科目	○				
単位	1	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	梶原 江美										
授業概要	看護理論の定義・分類を説明し、看護の諸理論の歴史的発展を社会的背景との関連から捉え、主な看護理論家とその理論の概要、特徴について概説する。また、看護理論の看護実践への活用について考える。 実務家教員として医療現場での実践経験を持ち、かつ看護実践を省察して論理的に看護を考えた経験を通して、看護理論家の看護の捉え方や看護における理論の活用への関心につなげることを支援する。										
授業形態	対面授業			授業方法	グループワーク、ディスカッション Classroom を活用						
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	1. 看護理論とは何かを述べることができる。 2. 看護理論の分類について説明できる。 3. 看護理論の変遷について説明できる。 4. 主な看護理論の概要と特徴を述べることができる。 5. 看護理論の看護実践における活用について考えることができる。										
理想的 レベル	標準的レベルの目標 1～5 について考え、積極的に学習に取り組むことができる。授業で取り上げなかった理論について、図書を活用し、主体的に学習する。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）			備考					
試験			50								
小テスト											
レポート			50								
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU11202J
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
予習、復習：教科書の該当部分を読む レポート：講義で学んだ看護理論の特徴をまとめ、事例について考える										4	
授業計画											
第 1 回	テーマ：①授業の概要の説明 ②看護理論とは何か、看護理論の分類、看護理論の変遷・動向 ③ナイチンゲールの看護理論 「看護覚え書き」を参考にして、環境に着目した特徴を理解し、看護実践における活用について考える。										

第2回	テーマ：ヘンダーソンの看護理論 「看護の基本となるもの」を参考にして、人間の基本的ニーズに着目した理論の特徴を理解し、看護実践における活用について考える。
第3回	テーマ：ウィーディンバック、パプロウ、オーランド、トラベルビーなどの人間関係の看護理論 看護師と患者の相互作用から看護のプロセスを捉えようとする看護理論の特徴を理解し、看護実践への活用を考える
第4回	テーマ：オレムの看護理論(セルフケアの観点からの看護理論) セルフケアについて着目したオレムの看護理論の特徴について概説し、看護実践への活用について考える。 また、オレム-アンダーウッズの理論について紹介する。
第5回	テーマ：ロイの看護理論(適応看護モデル) ロイの適応看護モデルの特徴を理解し、看護実践への活用について考える。
第6回	テーマ：ワトソンの看護理論 ワトソンのヒューマンケアリングの理論の特徴について理解し、看護実践への活用について考える。
第7回	テーマ：看護に活用されている理論の中から、実践への活用について考える
第8回	テーマ：授業のまとめ
テキスト	筒井真優美編集、看護学テキスト看護理論(改訂第3版)、看護理論 21 の理解と実践への応用、南江堂、2019 年
参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の紹介	参考図書・教材は、図書館にある本や DVD を活用してください。講義中に、参考図書はその都度紹介し、必要に応じて資料を配布します。
課題に対するフィードバックの方法	質問への回答や課題へのコメントは、講義中にフィードバックする。また、classroom に掲示する。
学生へのメッセージ・コメント	1 年次の看護学概論で使用した教科書・参考図書や看護理論に関する参考図書も活用してください。自己の看護観の構築や看護実践に活用できる内容であるため、受講者の皆さんと一緒に学びましょう。図書館を利用して、看護理論家の著作を読んで看護理論に対する理解を深めましょう。